



令和3年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）採択事業／FSCプロジェクト認証
みやぎ登米農業協同組合本店・なかだ支店

構造見学会
2022 9.20 (火)
13:30 ~ 14:30

名称 みやぎ登米農業協同組合本店・なかだ支店新築工事
敷地 宮城県登米市中田町石森字駒牽地内
用途 事務所
構造 木造2階建て
建築面積 1425.81㎡
延床面積 2646.15㎡

施主 みやぎ登米農業協同組合
設計 関・空間設計
構造設計 坂田涼太郎構造設計事務所
施工 深松組
木材加工 登米町森林組合
オノツカ
ダイテック

■ 計画概要

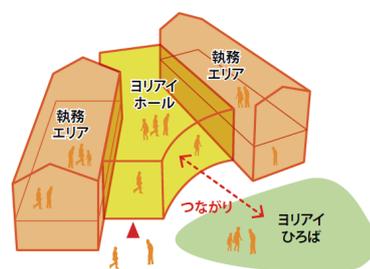


● 背景

みやぎ登米農業協同組合（JAみやぎ登米）の事務所建て替え計画である。これまでJAの建物は鉄骨造が通例であったが、「地元の登米産材の活用」「昨今の環境意識の高まり」「SDGsへの取り組み」などから、木造でチャレンジすることとなった。

● 計画概要・コンセプト

敷地は周囲を水田に囲まれ、遠くには栗駒山などの山々が臨める開けた場所である。農村に昔からある「寄り合い」の仕組みを現代的に再解釈した「ヨリアイ」をコンセプトに、「ここに来れば誰かと会える、ほっとできる」「困りごとはここでみんなで解決しよう」と思える、多世代がつながる場として建物全体を計画している。具体的には、木造2階建て・延床面積約2,700㎡の建物で、敷地形状に合わせて角度が振られた切妻屋根の執務棟が2棟寄り合い、その間に有機的にホールがつながり計画としている。ホールは、多世代がつながり多様な使い方のできる「現代のドマ」のような空間であり、各執務棟を一体的につなげるとともに職員や組合員の「ヨリアイ」が生まれる重要な場として計画している。



▲コンセプトイメージ

● 一般的な材料・工法の組み合わせによる大規模木造

「登米産材・国産材の活用」「事務所用途として必要な大スパンの実現」「木造JA事務所としてのプロトタイプ」の実現のため、本計画では「束ね柱」「重ね梁」「重ね肘木」による架構を提案する。これは部材や断面に限界のある規格製材を一般的な工法を用いて組み合わせ、大スパンの支持や燃えしろの確保を実現するものである。「束ね柱」「重ね梁」「重ね肘木」は構造的な性能を担保するだけでなく、空間を印象付ける意匠的な役割も果たし、製材の新たな可能性を提示するものである。

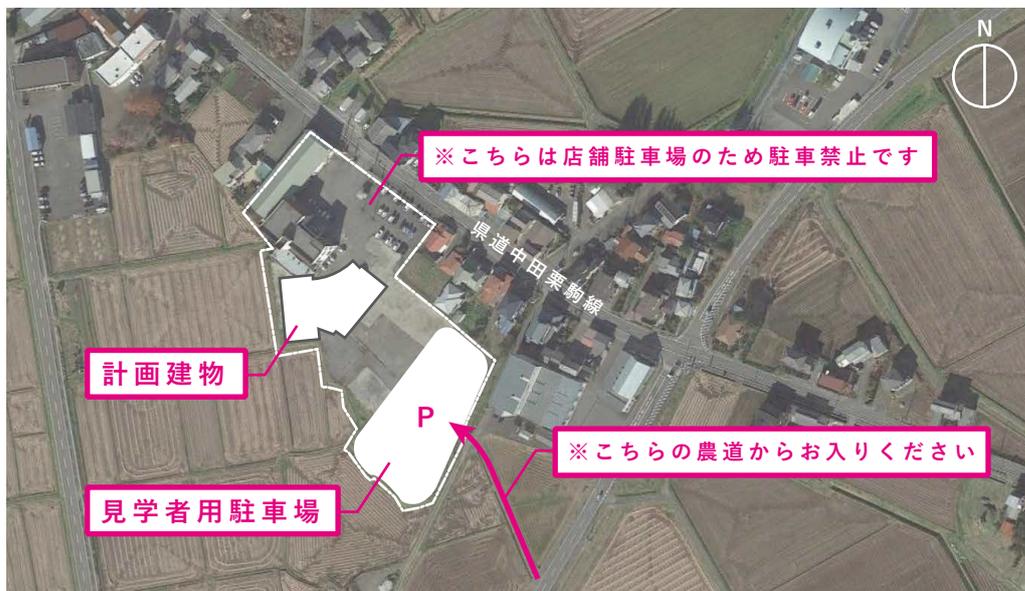


▲ヨリアイホール 大黒柱のような「八角柱」と「八方向重ね肘木」が目を引く中心の空間



▲2階執務室 重ね肘木による開放的な大空間で大梁や柱は燃えしろ設計によるあらわしとしている

■ 集合・お申込みのご案内



◆ 集合場所・駐車場について

・右記の見学者用駐車場にお集まりください

住所：宮城県登米市中田町石森字駒牽
※みやぎ登米農業協同組合なかだ支店

- ・見学者用駐車場は用意がありますが、台数に限りがございますので、乗り合いにご協力をお願いします
- ・隣接する店舗駐車場への駐車はご遠慮ください
- ・現地集合現地解散となります

◆ お申込み

・下記の URL または QR コードからお申込みください

<https://x.gd/Wu0SB>

▲お申込み URL

